

産学官連携開発プロジェクト

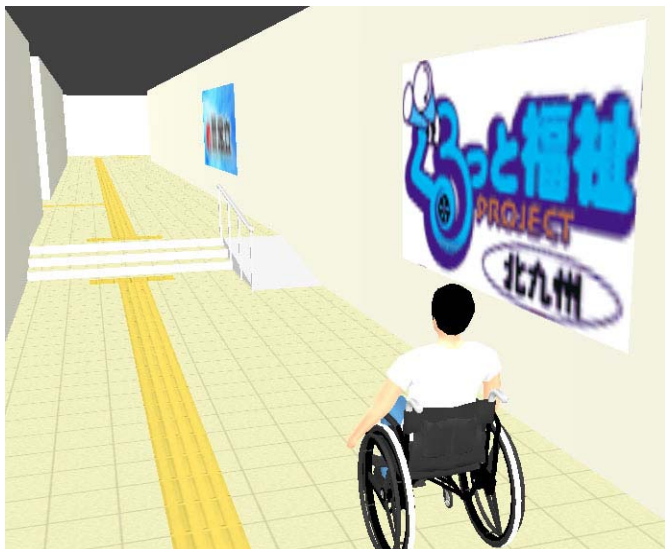
ユビキタスネットワークによる情報収集



バリア情報収集 電動車いす装置

本装置は、ハンディキャップ者が日常使用する車いすの移動に必要な力量、移動経路における位置情報、周辺の画像情報などを取得し、これら情報をネットワークによりDBに格納するバリア情報収集装置で施設・街中などの画像情報もDB化する「3Dナビゲーション」開発の支援研究装置である。

個別利用方として、移動目的地の探索を可能とするなどの機能を持つ事から、都市計画に使用する3次元モデルや現在ナビゲーションの媒体となつている2次元地図を3次元モデルへ変更できるデータを提供する事が可能である。



街中バリア情報収集の場合

施設内バリア情報収集の場合



利用者の個人特性に応じた道案内
ワイヤレス3Dナビゲーションシステム
ハイパくん